

我々は海を失いつつある

By Paul Craig Roberts

April 1, 2015, Information Clearing House

私は Dahr Jamail 報告の大ファンである。この記事“海が危ない” (Oceans in Crisis) では、ジャメイルは、我々が海を失いつつあることを力説している。これは人間による海の破壊、遠い未来にまで影響をおよぼす真の破壊の報告である。

<http://truth-out.org/news/item/29930-oceans-in-crisis-one-woman-will-cross-the-pacific-to-raise-awareness>

この事実は否定しようがない。

私の見方では、人間による海の破壊は、個人的資本主義の破壊的性格のもう一つの証拠である。資本主義は、地球や人類の将来を考えない、ただ短期的な利益とボーナスだけを考える。したがって社会的コストは無視される。

資本主義が有効なのは、社会的あるいは外的コストが、生産コストの中に含まれる場合だけである。しかし強力な企業は、政治的キャンペーンを行うことによって、社会的に機能する資本主義を妨害することができる。

その結果、資本家自身が資本主義制度を不能にしてしまう。我々は、生産の外的なコストが、資本主義的な出力の価値より、大きくなってしまふ地点に達するかもしれない。経済学者 Herman Daly は、これが事実であることの説得力ある説明をしている。

強力な資本家が、環境を、コスト・ゼロのゴミ捨て場として、自分のために使うとしたら、累積するそのコストはすべての人間の命を脅かす。海は“共通の財産”だから、どうしようもないように思われる。その所有者はどこにもいない。だから誰も、海と海の内容物を保護することはできない。

我々が直面しているのは、歴史上最も破壊的な力としての、人間の近視眼である。人間たちは、彼らを支える環境、彼らを支える法則、彼らを支える真理を、進んで破壊しようとしている。実際、人間は、もしあと3か月でも1年でも収入が上げられるなら、生命を支えるどんなものでも破壊しようとするだろう。

私の友人に、人間は地球惑星上のエイリアンだという話をして、面白がらせてくれる人がいる。彼によると、我々は、銀河系国際政府が、その犯罪的な、でき損ないたちを、生物に満ち溢れたある惑星へとうっかり捨ててしまったことによって、ここへ追放されたのだそうだ。この人間ならぬ、非人間たちが、その時以来、お互い同士を、他の生物種を、そして惑星それ自体の生命を、根絶やしにすることに励んできたのだ。

西洋世界では真理は死につつある。企業と政府のカネは、メディアや政治家だけでなく、多くの科学者をも買収してきた。残った独立した科学者たちは、研究の資金を得るのに非常に苦労しているが、企業の科学者たちは、ウソをつくための無制限の基金を得ている。

科学者はジャーナリストのように、「体制派」のためにウソをつくことによって、出世している。真理を語る人や警告者たちは、“内部過激派”“テロリスト”と決めつけられて、監視人物リストに載せられている。将来、犯罪を行う危険があるとして逮捕された人たちさえある。ここアメリカでは、ジェレミー・ベンサムの方針が行われていて、“容疑者”は彼が犯罪を実行する前に、将来それを犯すかもしれないという根拠で、逮捕される。

一方において、米、英、オーストラリア、カナダの政府は、イラク、リビア、シリア、アフガニスタン、パレスチナ、ソマリア、イエメン、パキスタン、ウクライナ、などのように、重要でない人々が住んでいる、世界の他の国家に対しては、極悪犯罪を犯している。これらの人々は、ベトナム人、ラオス人、チェロキー族、スー族、アパッチ族…のように、処分可能で、特別の存在ではないのである。

これらの人々はどうでもよい。重要なのは我々アメリカ人だけだ。我々は“特別の存在”、“なくてはならない存在”なのである。